



取扱説明書

MODEL: SWS-63/SWS-63KIT/SWS-63KIT-F

スプレーガン

スプレーガン
パイプ/ホースセット 付

スプレーガン
パイプ/ホースセット
カート 付

この度は近畿製品をお買い上げ戴き有難うございます。ご使用前に必ず取扱説明書をよく読み、十分に理解し、正しくご使用下さい。取扱説明書は、いつでも活用できるように大切に保管して下さい。

特長

- 圧力タンクを使用しない手軽なスプレーガン(エア圧力は0.5~0.8MPa要)
- 水性、油性シャーシ塗料に適しています。(一般的なものに限ります)
- 汎用スプレーガンと同じボディを採用していますので、取り回しは問題なくスムーズに作業できます。
- シンプルな構造ですので掃除も容易です。
- オプションのホース、パイプキットを付ければ角缶、ペール缶にセットすることで容易に塗装ができます。
- オプションのフルキットがあれば、移動も容易。作業効率はアップします。

スペック(参考値)

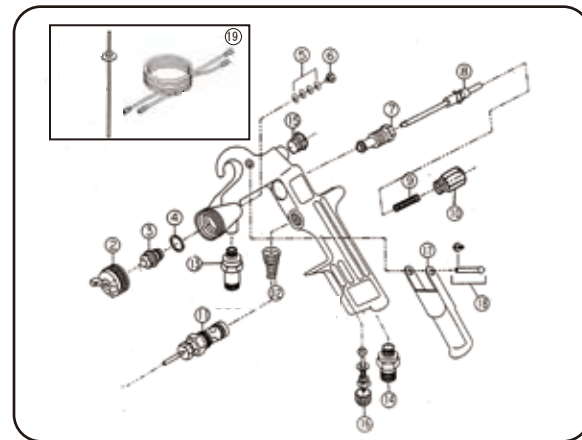
項目	粘度	塗出量	空気量	パターン幅	距離	項目	粘度	塗出量	空気量	パターン幅	距離
塗料種別 水性シャーシ (0.5MPa)	約36秒	620mL/min	220L/min	90mm	200mm	塗料種別 ラッカー塗料 (0.3MPa)	約22秒	520mL/min	140L/min	80mm	200mm

仕様

空気取入口サイズ: G1/4 塗料取入口サイズ: G3/8 全長: 149mm 重量: 440g 使用流体: 圧縮空気 使用温度範囲: -10~80°C 材質: アルミ、真鍮、他

分解図

部品No.	部品名	部品No.	部品名
②	空気キャップセット	⑫	空気弁スプリング
③	塗料ノズル	⑬	塗料ニップル
④	塗料ノズルガスケット	⑭	空気ニップル
⑤	ニードル弁パッキン	⑮	止めビス
⑥	ニードル弁パッキンナット	⑯	空気量調節セット
⑦	ニードル弁シリンダー	⑰	引金
⑧	ニードル弁	⑱	引金ビスセット
⑨	ニードル弁スプリング	⑲	ツインホース吸上パイプ付
⑩	塗料止め		
⑪	空気弁セット		



使用方法

A 接続方法



B 塗装準備方法



- ① 吸上げパイプに塗料ホース(白色)を組みつけて下さい。
 - ② ガンにエアホース(青色)を組みつけて下さい。他方側はエア源とコネクして下さい。
 - ③ ガンに塗料ホース(白色)を組付けて下さい。
- ※②、③の組み付けの時、エアホースが塗料ホースよりも、約8.5cm短い側を接続して下さい。

- ① 缶のキャップを外し、吸上げパイプを入れて下さい。
 - ② 塗料がガン先端から噴射するまで、ガンの引金を引いて下さい。
- ※ガンの引金は2段式になっており、1段目ではエアのみしか出ませんので2段目まで握り、塗料を出すようにして下さい。

C 塗装作業における留意点

① 吹付エア圧力



一般に吹付エア圧力は0.3~0.34MPaが標準ですが、SWS-63は吸上式のため少し高めエア圧力(0.5~0.8MPa)が必要です。ただし吹付エア圧力を必要以上に高くすると、微粒化しすぎて溶剤の蒸発も多く、また塗料の飛散も多い為、塗装効率が悪くなります。逆に吹付エア圧力が低すぎると、塗料を吸上げなかったり噴射粒子が粗くなり仕上がりに好結果が得られません。エア調節つまみあるいはコンプレッサーで圧力を調節して下さい。スプレーガンの最高使用空気圧力は1.0MPaです。

② 吹付パターンの調整



空気キャップバンドをゆるめ、空気キャップを回転させることにより、作業条件にあったパターンが得られます。



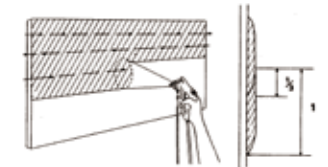
※尚、このスプレーガンはパターン調節は出来ません。

③ 塗料噴出量の調整

塗料ネジは固定式になっています。エア圧力、塗料粘度により塗料噴出量はわずかに変動しますが、通常仕様状態では差し支えありません。

④ 正しいガンの使い方

- ① 塗装面と塗料ノズルとの距離は20~25cmあけて吹付けて下さい。
- ② SWS-63の塗料ノズルが塗装面に平行になるように動かし、その速度は1秒間に30~50cmです。
- ③ スプレーパターンには有効塗装幅があり、吹付けた部分が図のように重なり合うように塗布して下さい。



D 作業終了後の洗浄について

① 水性タイプ

- ① 1週間に1度以上使用した場合
ガンの引金を1段引きエアで空吹きし、ガンの先端に付着した余分な塗料を飛ばした後、水を張ったバケツ等を用意し、ガン先端に水を付けておく。
- ② 10日以上使用しない場合
10日に1度空吹きし、塗料の噴射状態を確認の上①の方法で保管して下さい。

① 油性タイプ

- ① 1週間に1度以上使用した場合
ガンをシンナーやガソリンなどに付けておく。
- ② 10日以上使用しない場合
ガン・ホース内の塗料をぬいた後、吹付け作業と同じ方法でシンナーやガソリンなどでホース内部およびガンを洗浄して下さい。

この説明書は大変重要です。理解した上ご使用下さい。尚、説明書は、大切に保管して下さい。

警告 ⚠ 内容を怠った場合、身体に対し重度の障害や、死亡する可能性があることを示しています。

1. 空気圧力は、最高使用空気圧力以上では、使用しないで下さい。
2. 作業前、作業中、作業後のスプレーガンの保守点検作業は、必ず全ての残圧をゼロにした状態を確認した上、行って下さい。
3. 作業前必ず取り付けられている各部品の緩みなどが点検して下さい。尚、緩みなどがあった場合は確実に取り付けたことを確認の上、作業して下さい。
4. 人、動物もしくは生き物などに向けてスプレーガンの引金を引かないで下さい。
5. 保護具(例: マスク、手袋、耳栓、眼鏡)等、体に危険を及ぼさないよう万全の服装、保護具を装着して作業を行うことを義務づけて下さい。
6. 作業中に何らかの製品異常が発生した場合は、作業をすぐ中止して下さい。
7. 塗装環境において、火気は厳禁です。火災、爆発の恐れがあります。
8. 塗装について指定された塗料以外の流体、液体、気体は使用しないで下さい。
9. 静電気防止対策を行って下さい。
10. スプレーガンからコンプレッサーまでの回路全てにおいての安全確認は必ず行って下さい。
11. 当社製品に他の部品又は製品に附加した上で使用されて生じた事故及び損害は責任を負いません。
12. 修理は必ず当社に依頼して下さい。

株式会社 近畿製作所

〒546-0003 大阪市東住吉区今川7-4-2

TEL:06-6700-2601(代表) FAX:06-6700-2606 <http://www.kinki-seisakusho.co.jp>

MADE IN JAPAN